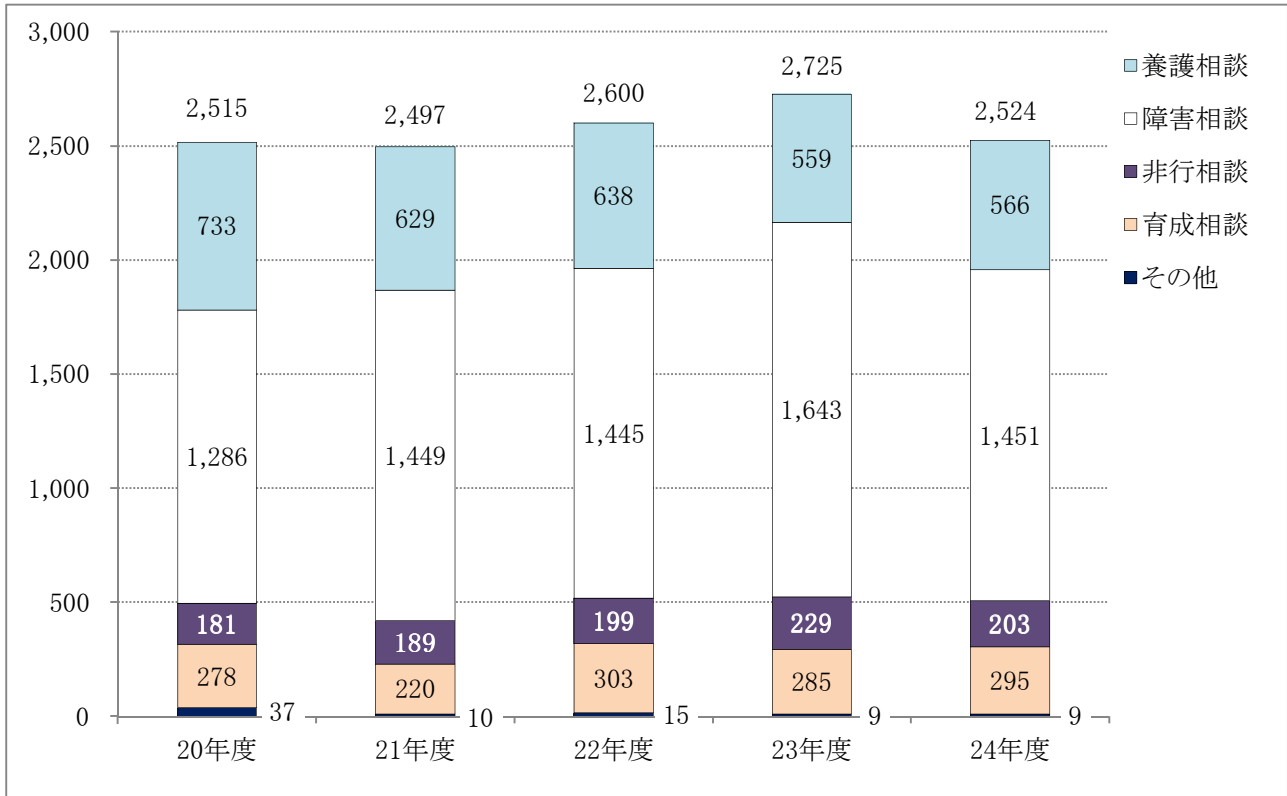
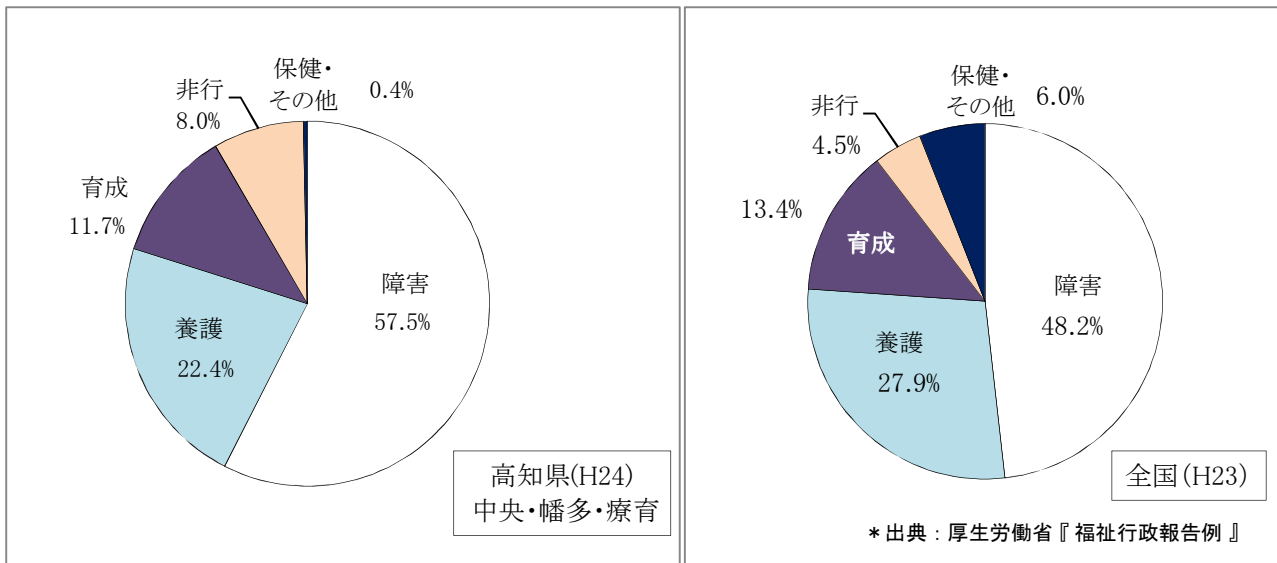


○療育福祉センターを含む年次別、種類別受付件数の推移



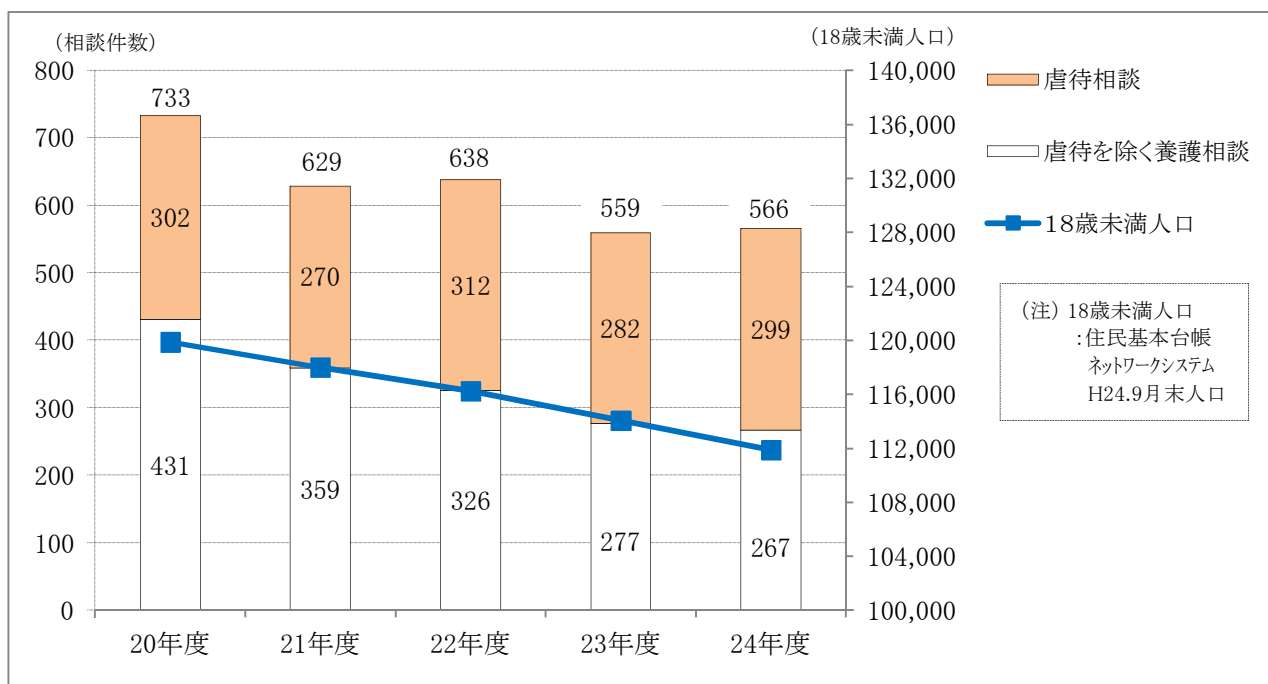
(注) 本県では、中央児童相談所管内の障害相談については、療育福祉センターが担当しているため、同センター取扱い分を加えて比較している。

○相談種類別構成比の全国との比較



中央及び幡多児童相談所における養護相談(虐待相談を含む)と非行相談の状況等

1 子ども人口と養護相談受付件数の推移



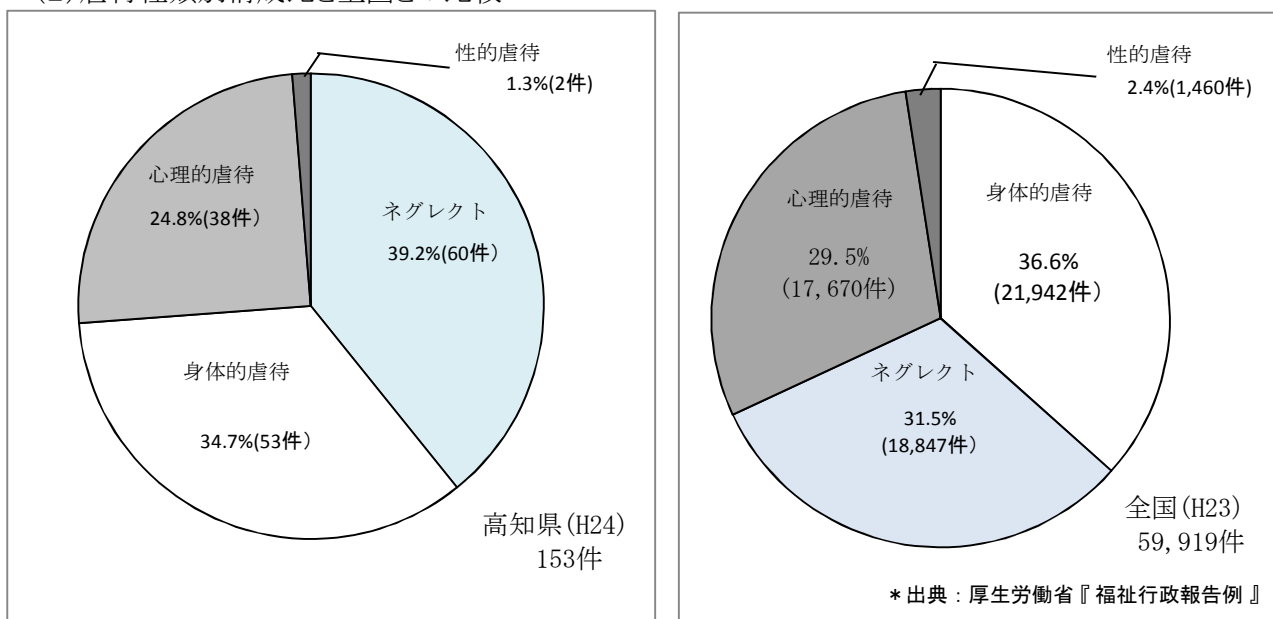
養護相談：養育困難（保護者の家出・失踪、死亡、離婚、入院、就労及び服役等）、迷子に関する相談、及び虐待相談（身体的虐待・心理的虐待・性的虐待・ネグレクトに関する相談）

2 児童虐待(平成24年度)

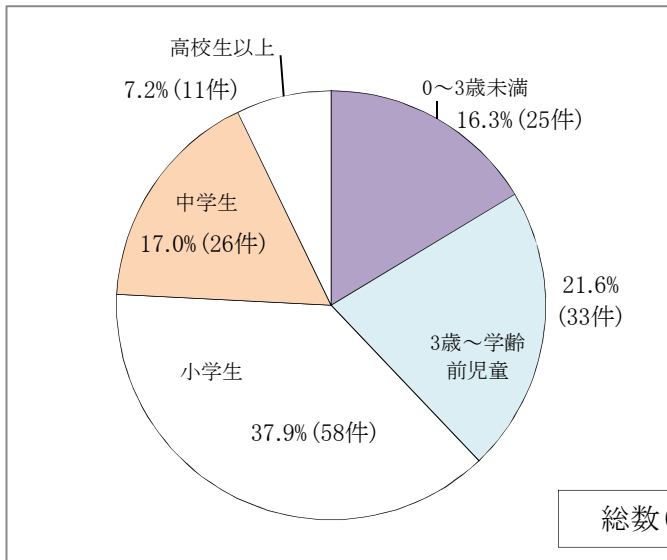
(1) 児童虐待相談対応件数 (※対応件数:相談受理後、調査し虐待と認定し対応した件数)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
受付件数	302	270	312	282	299
対応件数	184	155	142	116	153

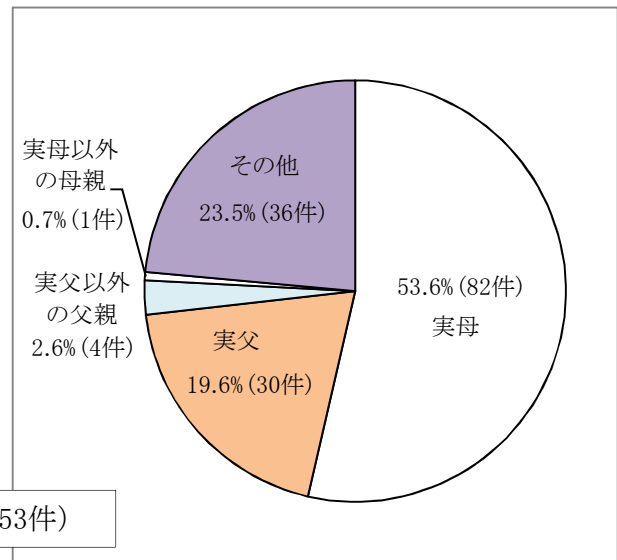
(2) 虐待種類別構成比と全国との比較



(3) 被虐待児の年齢別構成割合

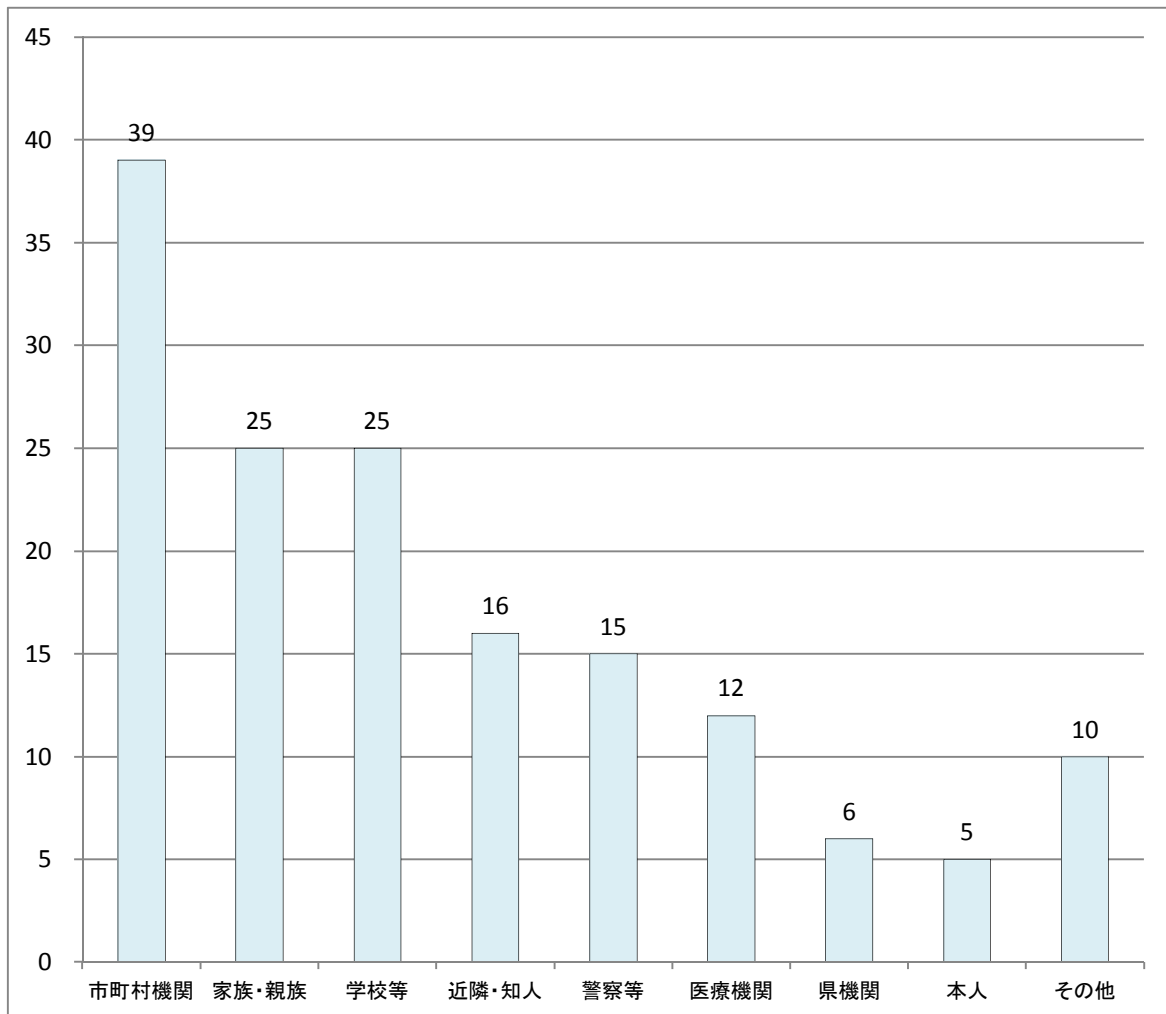


(4) 主たる虐待者



(注) 『その他』は(養継父母含む)両親 (25件)、内縁(同居)関係 (9件)、祖父 (2件)

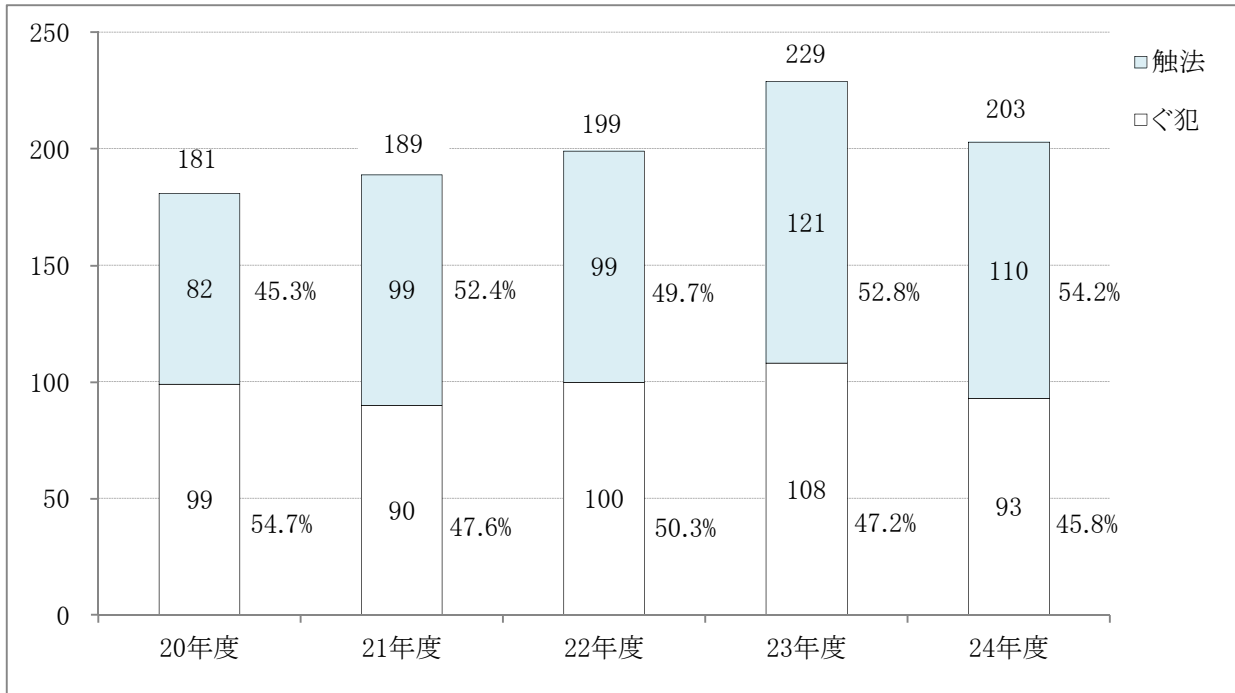
(5) 虐待認定・対応ケースの経路別件数



(注) グラフ(2)～(5)は、児童虐待として児童相談所に通告のあった299件のうち、児童虐待として対応した153件について分析したもの。また、虐待として認定されたもののうち、5件が一時保護中のため次年度の件数として持ちこされた。

3 非行相談

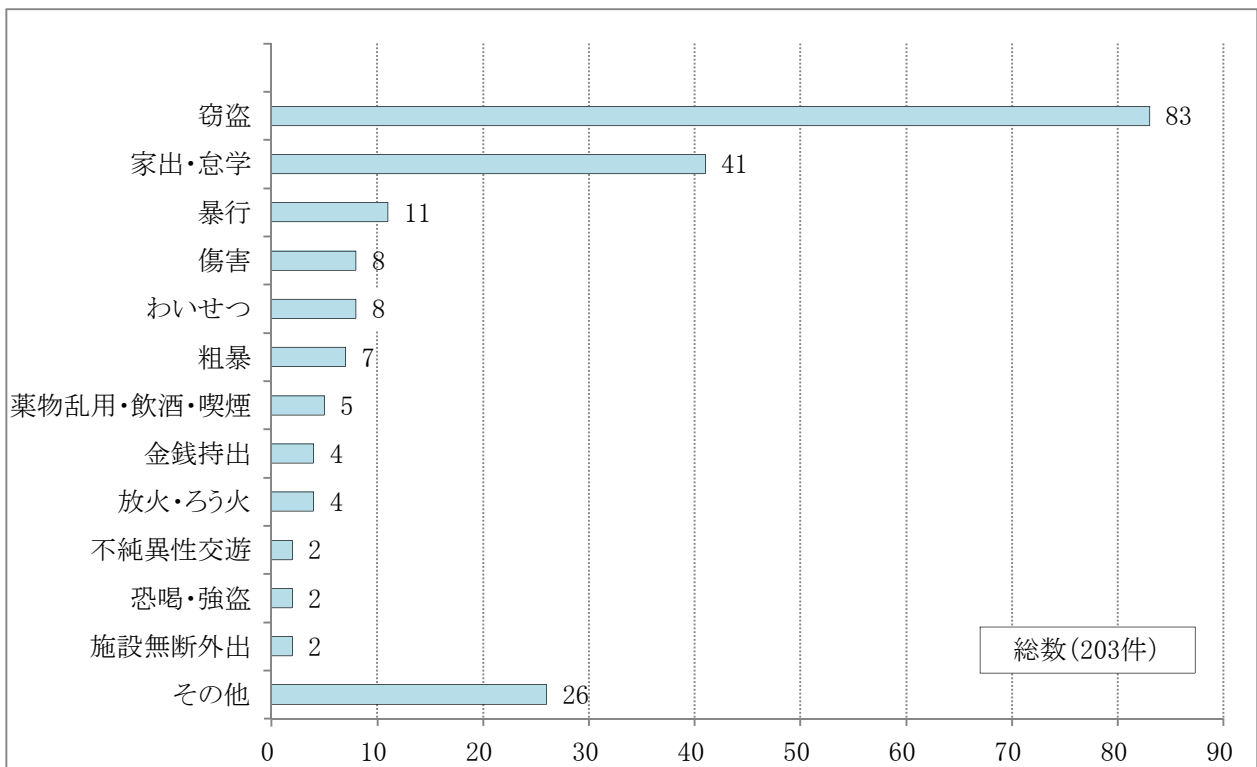
(1) ぐ犯・触法相談受付件数の年次別推移



(注) ぐ犯相談：虚言癖・家出・乱暴・飲酒・不純異性交遊等のぐ犯行為、問題行動のある子ども(ぐ犯少年)に関する相談。

触法相談：窃盗・傷害・放火等触法行為があったとして警察からの通告があった子ども(触法少年)家裁から送致のあった子ども(犯罪少年)に関する相談。

(2) 非行相談の主訴別件数(平成24年度)



(注) 『その他』の主な内訳：器物損壊(7件)・夜間徘徊(6件)・横領(3件)・不法侵入(2件)・業務妨害など(8件)